



# 北小魂



【めざす学校像】5つの気がみなぎる学校  
～魅せる北小魂！PROUD2019～新しい時代を切り拓く先 魁 者となれ

## 「未来の年表」は自分の足跡で創る

校長 残間 利博

平成最後の年の元旦は、風もなく穏やかな幕開けとなりました。午前6時の東の空は、濃いオレンジと青のグラデーションがとても神秘的でした。明けましておめでとうございます。

さて、表題の「…」は、一昨年ビジネス書としては異例の44万部以上を売り上げた河合雅司氏（産経新聞論説委員・大正大学客員教授）の著書のタイトルからの引用です。手にとって読破された方もいらっしゃるだろうと思います。その中で述べられていることの一部が、次の内容です。

- 2024年…「3人に1人」が65歳以上になる「超・高齢者大国」へ
- 2030年…人口減による経営難で、百貨店や銀行、老人ホームが地方から消える
- 2035年…男性の3人に1人、女性の5人に1人が生涯未婚になる「未婚大国」へ

年の始めから暗い話題で申し訳ありません。よく言われる「未来＝明るい」という構図は、“希望的観測が可能なのは未来だけ”だからだろうと思います。この本は、「このまま行くと、将来はこうなる恐れがある」というだけでなく、「こうすれば未来が見いだせる」という考え方（※実現可能かは別として）も例示されています。更に、河合氏はある対談の中で「団塊世代ジュニアに科せられた課題」について、次のような趣旨のことを語っています。

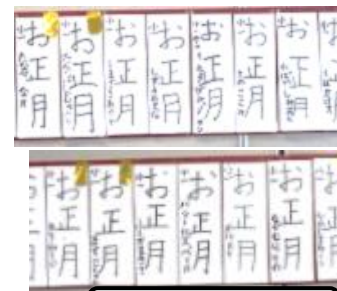
…「東京でなく、地方都市のどこかで新しいことをやっているやつが格好良い」とかの発想ですよ。団塊世代や我々のような50代半ばとなった世代が、「24時間働けますか？」というのを格好良いと考えていたことに対するアンチテーゼとして、さらっと仕事を済ませてアフター5を過ごす。そのうえで、「たしかに先輩と比べると収入は少ないけれども、豊かさでは俺たちのほうが絶対に上だよ。」というようなモデルを創りあげていく。そういうことを、次の世代に対して見せていってほしいんです。…

同氏は、キーワードとなるのが「大胆な発想の転換」だと言います。そして「この先どんな変化が起こるかをきちんと理解していれば、怖がる必要はない」と断言します。やはり、今の子どもたちに必要な力、それは“様々な変化に柔軟に対応できる力”だと感じました。自分自身の「未来の年表」は、子どもたち自身が創る足跡でしか描けないのです。

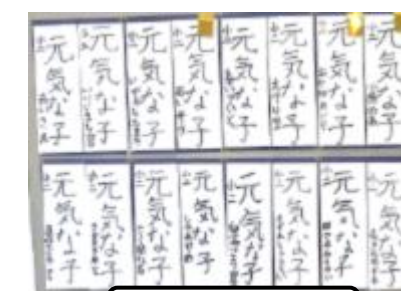
昨年度末、日本漢字能力検定協会がその年の世相を表す漢字一文字「今年の漢字」の集計結果を発表し、「災」が選出されました。これは、豪雨や地震などが多かった世相が反映されたものです。ならば、羽生北小学校は『災転じて福となす』の如く、保護者・地域の皆さんとともに前進し続ける「地域のベースキャンプ」であり続けようと思います。引き続き、本校の教育活動に無償の御支援・御協力をいただくことをお願い申し上げます。本年も、よろしくお願い致します。



## 一筆入魂 ～一筆一筆に想いを込めて～ 書きぞめ競書会



1年生の作品



2年生の作品



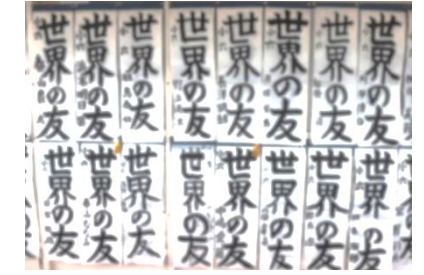
3年生の作品



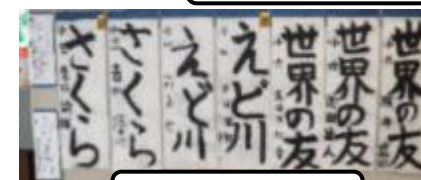
4年生の作品



5年生の作品



6年生の作品



ゆりの木の作品



御家庭では書き初めをなされたでしょうか。日本では、古来より1月2日に新年の抱負を書にしたための風習があります。本校では昨年の12月3日（火）に「書きぞめ競書会」が行われました。書写の時間に練習してきた成果を発揮しようと真剣に書く姿がありました。



競書会の様子

## 普段の様子を公開～1日フリー参観～



リースづくり（1年）おもちゃランド（2年）の様子



昨年の12月5日（木）に「1日フリー参観」が行われました。今年度初めての試みでしたがいかがだったでしょうか。1時間目から5時間目まで（給食時除く）公開でした。授業参観とはちがう普段の様子を見ていただけたのではないのでしょうか。御多用の中、御来校いただきありがとうございました。

## みんなで創った劇「星の王子さま」

昨年の12月9日（月）に芸術鑑賞会が行われました。体育館に大型セットが設置され、舞台装置なども見学させていただきました。また、本格的なミュージカル（東京演劇集団・風）を初めて観る児童も多く、自分達も歌で参加することができ、全員で創り上げた劇となりました。



星の王子さまと6年生が共演